

令和7年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

資料1

（くらし・環境部所管事業）						単位（事業費）：百万円																				
番号	事業主体	事業名	（ふりがな） 箇所名	関係 市町	事業 内容	事業概要			再評価 理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 （全体事業費） （計画期間）	※2 評価の視点		対応方針（案）及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項	担当課	
						評価 時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C（i=4%）		EIRR	事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 （案）	理由	選定の視点						最終 選定 結果
							上段：前回or着手時 下段：今回	上段：前回or着手時 下段：今回					上段：当初or前回 下段：今回							上段：当初or前回 下段：今回	①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等		
1	静岡県	公営住宅等整備事業	けんえいせやうたく、きやうこ 県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	浜松市 中央区	県営住宅の建替 ・解体：12棟560戸 ・新築：5棟440戸	R3 （事業採択時）	R3～R11	8,253	事業採択（R3） 後5年が経過	0.00	0.0%	-	-	-	◎	◎	継続	・安全で良質な住宅ストックの形成が図られている。 ・設計施工の一括発注やスケールメリットによるコスト削減及び工期短縮が実現できている。 ・令和7年11月には第2工区が完成するなど、事業は予定どおりに進捗している。 ・団地自治会へのアンケートの結果、事業継続を要望する意見が多かったことから、事業を継続する。	-	-	○	-	◎	国 50% 県 50%	公営住宅課	
						R7 （今回）	R3～11 （変更なし）	7,994 （-259）		4,971	62.2%	-	-													

（経済産業部所管事業）						単位（事業費）：百万円																			
番号	事業 主体	事業名	（ふりがな） 箇所名	関係 市町	事業 内容	事 業 概 要			再評価 理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 （全体事業費） （計画期間）	※2 評価の視点		対応方針（案）及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項 事業費 負担割合	担当課
						評価 時期	計画期間			事業費	進捗率	B/C（i=4%）			事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 （案）	理 由	選定の視点				最 選 結 果		
							上段：前回or着手時 下段：今回	全体事業費 上段：前回or着手時 下段：今回				上段：当初or前回 下段：今回	EIRR 上段：当初or前回 下段：今回						①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等			
							H27 （着手 時）	H27～R6				2,093	事業採択後10年 が経過した時点で 継続中の事業 地区						-	-	1.1	-		◎	
2	静岡県	農業農村整備事業	にしうら 西浦みかん立保 古宇	沼津市	農道工 L=7,487m 用水路工 L=250m 鳥獣害防止柵工 L=15,000m	R7 （今回） <th>H27～R12 （+60%、+6年延伸）</th> <th>4,213 （+201%、2,120 増）</th> <td>1,608</td> <td>38.2%</td> <td>1.2</td> <td>8.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	H27～R12 （+60%、+6年延伸）	4,213 （+201%、2,120 増）	1,608	38.2%	1.2	8.7													
						H27 （着手 時） <th>H27～R1</th> <th>689</th> <th>事業採択後10年 が経過した時点で 継続中の事業 地区</th> <th>-</th> <th>-</th> <th>1.9</th> <th>-</th> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>継続</td> <th>・先行して整備した排水機場及び排水路により、 湛水被害が発生しておらず、地元は事業の 効果を実感しており、未整備区間の早期完成を 望む声が上がっている。 ・農家の営農意欲が高まり、高収益作物等への 転換が進んでいる。 ・本事業により湛水被害が軽減されることで安 定した農業経営が図られるとともに、生活環境 の安全性向上が地域全体の活性化に繋がること から、事業を継続し早期完成を目指す。</th> <th>-</th> <th>-</th> <th>-</th> <th>-</th> <td></td> <th>国 県 地元</th> <th>50% 40% 10%</th>	H27～R1	689	事業採択後10年 が経過した時点で 継続中の事業 地区	-	-	1.9	-	◎	◎	継続	・先行して整備した排水機場及び排水路により、 湛水被害が発生しておらず、地元は事業の 効果を実感しており、未整備区間の早期完成を 望む声が上がっている。 ・農家の営農意欲が高まり、高収益作物等への 転換が進んでいる。 ・本事業により湛水被害が軽減されることで安 定した農業経営が図られるとともに、生活環境 の安全性向上が地域全体の活性化に繋がること から、事業を継続し早期完成を目指す。	-	-	-	-		国 県 地元	50% 40% 10%	
3	静岡県	農業農村整備事業	しんかろこ 新神子	御前崎市	排水機場工 N=1基 排水路工 L=1,124m	R7 （今回） <th>H27～R10 （+180%、9年延伸）</th> <th>884 （+28.3%、195増）</th> <td>697</td> <td>78.8%</td> <td>1.6</td> <td>9.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	H27～R10 （+180%、9年延伸）	884 （+28.3%、195増）	697	78.8%	1.6	9.2%													

（交通基盤部所管事業）										単位（事業費）：百万円																
番号	事業 主体	事業名	（ふりがな） 箇所名	関係 市町	事業 内容	事 業 概 要			再評価 理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 （全体事業費） （計画期間）	※2 評価の視点		対応方針（案）及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項	担当課	
						評価 時期	計画期間			事業費	進捗率	B/C（i=4%）			EIRR	事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 （案）	理 由	選定の視点						最 選 結 果
							上段：前回又は着手時 下段：今回	全体事業費 上段：前回又は着手時 下段：今回				上段：当初または前回 下段：今回	下段：今回							上段：当初または前回 下段：今回	上段：当初または前回 下段：今回	①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模		
4	静岡県	道路改良事業	しやうもほうどうよしだいい 主要地方道吉田大東線	島田市 牧之原市	道路工 L=1,700m、W=10.0m	R2 （前回）	H28～R7	1,810	再評価実施（R2） 後5年が経過	610	33.7%	3.5	12.6%	・労務費及び物価の上昇 ・軟弱地盤対策の増加、 補強土壁の増加、橋梁拡 幅の計画変更	◎	◎	継続	・本事業は、費用対効果が高く、産業や観光の 活性化に大きく寄与することから、継続して早 期完成を図る。	○	－	○	○	◎	国 50% 県 50%	道路整備 課	
R7 （今回）	H28～R11 （+40%、4年延伸）	3,280 （+81%、1,470増）	1,861	56.7%	2.0	7.7%																				
5	静岡県	道路改良事業	いっばせんどうなかにわのみや 一般県道中大見八幡野線	伊東市	道路工 L=1,330m、W=9.75m	R3 （前回）	R3～R6	600	事業採択 （R3）後 5年が経過	－	－	－	－	・労務費及び物価の上昇 ・法面対策の追加とそれ に伴う用地取得範囲の増	◎	◎	継続	・本事業は観光地へのアクセス強化及び災害時 の緊急車両の通行の確保に大きく寄与すること から、事業を継続して早期完成を図る。	－	－	－	○		国 45% 県 55%	道路整備 課	
R7 （今回）	R3～R9 （+75%、3年延伸）	820 （+34%、220増）	755	92.1%	1.0	4.1%																				
6	静岡県	道路改良事業	いっばせんどうけんごぼろし 一般県道仙石原新田線	裾野市	道路工 L=1,000m、W=7.0m	R3 （前回）	R3～R6	800	事業採択 （R3）後 5年が経過	－	－	－	－	・労務費・物価・建設発 生土処分費の上昇 ・交通規制による施工時 間限定と、地質が脆弱で あったことによる施工効 率の低下	◎	◎	継続	・本事業は観光地へのアクセス強化及び災害時 の緊急車両の通行の確保に大きく寄与すること から、事業を継続して早期完成を図る。	－	－	○	○		国 45% 県 55%	道路整備 課	
R7 （今回）	R3～R10 （+100%、4年延伸）	1,900 （+138%、1,100増）	1,163	61.2%	1.5	6.2%																				
7	静岡県	道路改良事業	いっばせんどうしちもとがりよくら 一般県道下土狩徳倉沼津港線（狩野 川第三架橋）	駿東郡 清水町 三島市	道路工 L=1,200m、W=14.0m うち、橋梁工 L=260m	R3 （前回）	R3～R15	7,000	事業採択 （R3）後 5年が経過	－	－	－	－	－	◎	◎	継続	・本事業は、狩野川の新たに渡河する橋梁であ り、安全で円滑な交通を確保するとともに、大 規模災害時の輸送機能確保を図るものである。 事業は円滑に進捗しており、期待される効果も 高いことから、事業を継続する。	○	－	○	－		国 50% 県 50%	道路整備 課	
R7 （今回）	R3～R19 （+31%、4年延伸）	7,800 （+11%、800増）	848	10.9%	1.0	4.1%																				
8	静岡県	河川改修事業 （広域河川改修事業）	にきやうせんしんくわうきよかわ 二級河川神宮寺川	浜松市	河道改修 L=1500m 橋梁工 N=1橋	R2 （前回）	H28～R10	562	再評価実施（R2） 後5年が経過	260	46.3%	1.6	8.0%	・岩掘削の追加に伴う計 画期間の見直し） ・岩掘削の追加等に伴う 全体事業費の増額	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨に より、事業の必要性が一層高まっており、さら に事業の投資効果も見込まれ、地元住民の期 待も大きく、今後の事業の進捗が見込めるこ とから、事業を継続する。	－	－	－	○		国 50% 県 50%	河川海岸 整備課	
R7 （今回）	H28～R14 （+30.8%、4年延伸）	967 （+72.1%、405増）	617	63.8%	1.2	5.1%																				

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項	担当課
						評価時期	計画期間			事業費	進捗率	B/C (i=4%)	EIRR		選定の視点										
							上段：前回又は着手時	上段：前回又は着手時									①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	最終結果				
							下段：今回	下段：今回							①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	最終結果						
9	静岡県	河川改修事業 (広域河川改修事業)	にきゅうかんがわにけわ 二級河川廻留川	浜松市	河道改修 L=2300m 橋梁工 N=6橋 水門工 L=1基	R2 (前回)	H27～R26	12,300	再評価実施(R2) 後5年が経過	790	6.4%	16.8	67.6%	・護岸構造の見直しに伴う全体事業費の増額 ・物価及び労務費の上昇に伴う全体事業費の増額	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	—	—	○	○	国 50% 県 50%	河川海岸整備課	
						R7 (今回)	H27～R26 (変更なし)	17,800 (+44.7%、5,500増)		3,702	20.8%	7.0	25.4%												
10	静岡県	河川改修事業 (浜松飛行場周辺障害防止対策事業)	にきゅうかんがわにけわ 二級河川東神田川	浜松市	河道改修 L=1800m	R2 (前回)	H28～R13	1,799	再評価実施(R2) 後5年が経過	497	27.6%	6.4	31.1%	-	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	—	—	—	—	国 66.7% 県 33.3%	河川海岸整備課	
						R7 (今回)	H28～R19 (+37.5%、6年増)	2,078 (+15.5%、279増)		948	45.6%	7.1	37.6%												
11	静岡県	河川改修事業 (広域河川改修事業)	にきゅうかんがわにけわ 二級河川巴川	静岡市	河道改修 L=6600m 遊水地工 N=1箇所	R3 (前回)	H21～R20	56,117	河川整備計画変更(R3)後5年目	35,965	64.1%	2.7	10.3%	-	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	○	—	○	—	◎	国 50% 県 50%	河川海岸整備課
						R7 (今回)	H21～R20 (変更なし)	59,123 (+5.4%、3,006増)		45,545	77.0%	2.7	12.2%												
12	静岡県	河川改修事業 (地震・高潮対策事業)	にきゅうかんがわにけわ 二級河川馬込川	浜松市	水門工 N=1基	R5 (前回)	R1～R9	8,400	社会経済情勢の急激な変化(全体事業費の増加)	2,847	33.9%	6.9	415.2%	-	◎	◎	継続	浜松市沿岸域の防潮堤整備は17.5kmがR2.3月に完了し、水門を含む馬込川河口部400mを残すのみとなっており、背後地には旧区役所や学校が立地し、津波発生時の被害が甚大であることから、地域から早急な整備完了を求められている。 また、沿岸部の安全確保に合わせて、隣接する中田島砂丘などの観光資源を含めた沿岸部の利活用促進に向けて地域の期待が高まっていることから、事業を継続する。	○	—	—	—	国 50% 県 50%	河川海岸整備課	
						R7 (今回)	R1～R9 (変更なし)	9,700 (+15.5%、1,300増)		7,191	74.1%	5.7	209.7%												
13	静岡県	通常砂防事業	しものおなかざわ 下小野中沢	南伊豆町	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3～R7	140	事業採択(R3)後5年が経過	-	-	17.5	-	・境界確定に際し、事業範囲内に所有者不明地が確認され、所有者の特定に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、南伊豆町においても令和3年度に土砂災害が発生する中、小学校を保全する本事業に対する地元の期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 50% 県 50%	砂防課	
						R7 (今回)	R3～R10 (+60%、3年延伸)	140 (変更なし)		53	37.9%	22.5	34.5%												
14	静岡県	通常砂防事業	しものおなかざわ 下小野西沢	南伊豆町	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3～R7	104	事業採択(R3)後5年が経過	-	-	3.0	-	・境界確定に際し、未相続の用地が確認され、所有者の特定に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、南伊豆町においても令和3年度に土砂災害が発生する中、アンケート調査でも全員が事業継続の必要性を感じており、地元の期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 50% 県 50%	砂防課	
						R7 (今回)	R3～R10 (+60%、3年延伸)	104 (変更なし)		45	43.3%	6.1	17.2%												
15	静岡県	火山砂防事業	しものおなかざわ 下多賀小山沢	熱海市	砂防堰堤工 N=1基	R2 (前回)	H28～R6	186	再評価(R2)後5年間経過	26	12.4%	23.2	115.5%	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、熱海市においても令和6年に土砂災害が発生し、アンケート調査でも回答を得られた全員が事業継続の必要性があると回答し、事業に対する地元の期待も大きい。また協議が継続していた用地についても今年度中に協議が整う見込みである。費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	○	—	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	H28～R10 (+44% 4年延伸)	186 (変更なし)		29	15.6%	22.8	26.8%												
16	静岡県	火山砂防事業	あかぎのうみ 赤沢右支川	伊東市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3～R7	405	事業採択(R3)後5年が経過	-	-	4.3	-	・地質調査の結果、堰堤規模が大きくなり、また法面工が追加が必要となったため ・労務費、材料費が上昇したため	◎	◎	継続	・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、伊東市においても令和6年に土砂災害が発生する中、国道135号に加え、私鉄伊豆急行線を保全する本事業への期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	○	○	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3～R10 (+60%、3年延伸)	513 (+27%、108増)		109	21.2%	9.9	18.9%												
17	静岡県	火山砂防事業	あかぎのうみ 釜ヶ洞沢	伊豆市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3～R11	505	事業採択(R3)後5年が経過	-	-	8.9	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	○	—	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3～R13 (+22%、2年延伸)	505 (変更なし)		44	8.7%	14.0	16.3%												
18	静岡県	火山砂防事業	あかぎのうみ 半經寺沢A	伊豆市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3～R9	217	事業採択(R3)後5年が経過	-	-	49.9	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3～R11 (+29%、2年延伸)	197 (-9% 20減)		36	18.3%	87.6	44.7%												
19	静岡県	火山砂防事業	あかぎのうみ 西浜沢	伊豆市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3～R7	113	事業採択(R3)後5年が経過	-	-	2.9	-	・工事用道路のルートについて地権者との協議に不測の日時を要したため ・地権者との用地境界確定に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3～R10 (+60%、3年延伸)	113 (変更なし)		34	30.1%	5.3	10.1%												

番号	事業 主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係 市町	事業 内容	事業概要			再評価 理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針（案）及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項		担当課		
						評価 時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C（i=4%）		EIRR	事業の 必要性			進捗の 見込み	対応方針 （案）	理 由	選定の視点						
							上段：前回又は着手時	下段：今回									上段：前回又は着手時	下段：今回				①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等		最 選 結	終 定 果
							上段：当初または前回 下段：今回	上段：当初または前回 下段：今回									上段：当初または前回 下段：今回	上段：当初または前回 下段：今回										
20	静岡県	火山砂防事業	毘沙門川	伊豆の国市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R10	431	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	7.3	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆の国市においても令和3年に土砂災害が発生する中、多くの人家を保全する本事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	国 県	55% 45%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R10 （変更なし）	431 （変更なし）	123		28.5%	11.9	14.8%																
21	静岡県	火山砂防事業	清水川第1支川	富士宮市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R7	300	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	8.0	-	・放流先のルート選定に 当り、関係機関との調整 に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、富士宮市においても令和6年に土砂災害が発生している。「早く整備を進めて欲しい」といった地元の意見もある中、時間を要している関係機関との協議についても今年度中に整う見込みである。費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 県	55% 45%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R11 （+80%、4年延伸）	300 （変更なし）	18		6.0%	12.5	21.4%																
22	静岡県	通常砂防事業	俵沢上沢	静岡市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R7	350	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	3.3	-	・管理用道路の設置箇所 について地権者の同意に 不測の日時を要したため ・管理用道路について、 現地測量結果を基に再検 討し、ルートに変更した ため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても令和3年度からこれまでに87件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R11 （+80%、4年延伸）	330 （-6% 20減）	33		10.0%	4.1	12.1%																
23	静岡県	通常砂防事業	荒神沢	島田市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R7	153	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	27.6	-	・用地取得に不測の日時 を要したため ・詳細設計により、溪流 保全工の追加や堰堤形状 の変更が生じたため ・労務費、材料費が上昇 したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても令和3年度からこれまでに27件の土砂災害が発生していることに加え、保全対象に浄水場を含む本事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R10 （+60%、3年延伸）	254 （+66%、101増）	65		25.6%	22.0	31.4%																
24	静岡県	通常砂防事業	身成井戸沢	島田市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R8	140	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	9.6	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても令和3年度からこれまでに27件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R10 （+33%、2年延伸）	182 （+30%、42増）	51		28.0%	12.4	26.1%																
25	静岡県	通常砂防事業	釜ノ沢	島田市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R7	117	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	11.4	-	・用地取得に不測の日時 を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても令和3年度からこれまでに27件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R10 （+60%、3年延伸）	117 （変更なし）	44		37.6%	17.9	31.7%																
26	静岡県	通常砂防事業	原沢	川根本町	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R8	180	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	7.2	-	・用地取得に不測の日時 を要したため ・詳細検討により堰堤規 模が大きくなったため ・労務費、材料費が上昇 したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、川根本町においても令和4年から毎年土砂災害が発生している。アンケート調査でも回答を得られた全員が事業継続の必要性を感じており、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	○	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R10 （+33%、2年延伸）	269 （+49%、89増）	56		20.8%	7.4	19.2%																
27	静岡県	通常砂防事業	湯谷北沢	藤枝市	砂防堰堤工 N=1基	R2 （前回）	H28～R6	443	再評価 (R02)後 5年が経過	211	47.6%	8.8	43.9%	・管理用道路法面の変状 に対する対策工の調査、 設計、用地取得に不測の 日時を要したため ・管理用道路法面の変状 に対する法面工が追加と なったため ・労務費、材料費が上昇 したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、本箇所です土石流災害が発生した場合には、地元だけでなく国道1号も被災し、交通への影響も多大のため、事業に対する期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	○	○	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	H28～R10 （+44%、4年延伸）	860 （+94%、417増）	637		74.1%	4.7	12.7%																
28	静岡県	通常砂防事業	西の平沢	浜松市	砂防堰堤工 N=2基	R2 （前回）	H28～R7	350	再評価 (R02)後 5年が経過	165	47.1%	7.5	36.8%	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年度からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	○	—	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	H28～R8 （+10%、1年延伸）	412 （+18%、62増）	352		85.4%	3.8	12.0%																
29	静岡県	通常砂防事業	上尾奈谷床沢	浜松市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （当初）	R3～R8	132	事業採択 (R3)後 5年が経過	-	-	4.7	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年度からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R10 （+33%、2年延伸）	170 （+29%、38増）	51		30.0%	6.4	16.9%																
30	静岡県	通常砂防事業	奥沢	浜松市	砂防堰堤工 N=1基	R3 （再開）	R3～R8	370	事業再開 (R3)後 5年が経過	-	-	3.8	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年度からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	国 県	50% 50%	砂防課			
					R7 （今回）	R3～R11 （+50%、3年延伸）	370 （変更なし）	55		14.9%	6.1	15.6%																

番号	事業 主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係 市町	事業 内容	事 業 概 要			再評価 理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項			
						評価 時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C (i=4%)		EIRR	事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 (案)	理 由	選定の視点					事 業 費 負担割合	担当課	
							上段：前回又は着手時 下段：今回	上段：前回又は着手時 下段：今回												①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等	最 選 結			終 定 果
31	静岡県	地すべり対策事業	口坂本No.2	静岡市	排水トンネル工 N=1式 集水井 N=1式	R2 (前回)	H28～R7	1,390	再評価 (R02)後 5年が経過	524	37.6%	1.4	6.4%	応急対策工として施工した横ボーリング等が地すべり変状により被災したことから、地下水を地すべりブロック外から排水するための排水トンネルを追加する必要が生じたため。	◎	◎	継続	・集中豪雨の頻発化により地元の期待も大きく、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。	－	○	○	○	◎	国 50% 県 50%	砂防課		
					R7 (今回)	H28～R12 (+56%、5年延伸)	2,183 (+57%、793増)	928		42.5%	1.3	5.3%															
32	静岡県	地すべり対策事業	青谷	浜松市	計器観測 N=1式 横ボーリング工 N=3群	R2 (前回)	H28～R6	190	再評価 (R02)後 5年が経過	49	25.8%	3.1	15.0%	・想定よりも水位が低下しなかったことから、計画安全率を確保するための横ボーリング工1群を追加したことにより、全体事業費が増加した。	◎	◎	継続	・集中豪雨の頻発化により地元の期待も大きく、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。	－	－	○	○		国 50% 県 50%	砂防課		
					R7 (今回)	H28～R9 (+33%、3年延伸)	282 (+47%、92増)	191		67.7%	4.5	12.3%															
33	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	向山No.2	西伊豆町	擁壁工 L=403.85m	R3 (当初)	R3～R7	500	事業採択 (R3)後 5年が経過	－	－	5.3	－	・未相績地が多く確認されたこと、及び狭隘な町道からの進入路を確保するための借地交渉が難航したことや、工法変更により事業の進捗が遅れたため	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、アンケートにおいても事業推進の意見が寄せられるなど、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	－	－	○	○		国 45% 県 45% (市町 10%)	砂防課		
					R7 (今回)	R3～R12 (+100%、5年延伸)	550 (+10%、50増)	52		9.5%	14.9	24.0%															
34	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	獅子浜南洞	沼津市	擁壁工 L=132m 法面工 A=1,500m2	R3 (当初)	R3～R10	180	事業採択 (R3)後 5年が経過	－	－	20.3	－	－	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、沼津市においても令和3年からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	－	－	－	－		国 47.5% 県 47.5% (市町 5%)	砂防課		
					R7 (今回)	R3～R10 (変更なし)	197 (+9%、17増)	104		52.8%	36.1	44.7%															
35	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	熊坂No.2	伊豆市	重力式擁壁工 L=128m 補強土壁工 L=31m	R3 (当初)	R3～R9	173	事業採択 (R3)後 5年が経過	－	－	7.2	－	－	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	－	－	－	－		国 40% 県 50% (市町 10%)	砂防課		
					R7 (今回)	R3～R11 (+28%、2年延伸)	173 (変更なし)	35		20.2%	14.3	23.4%															
36	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	新聞和田A	静岡市	擁壁工 L=98m	R3 (当初)	R3～R9	151	事業採択 (R3)後 5年が経過	－	－	4.3	－	－	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても令和3年からこれまでに87件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	－	－	－	－		国 47.5% 県 47.5% (市町 5%)	砂防課		
					R7 (今回)	R3～R9 (変更なし)	151 (変更なし)	130		86.1%	8.5	23.2%															
37	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	谷下	浜松市	法面工 A=4300m2 擁壁工 L=454m	R3 (当初)	R3～R10	428	事業採択 (R3)後 5年が経過	－	－	3.7	－	－	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	－	－	○	－		国 45% 県 45% (市町 10%)	砂防課		
					R7 (今回)	R3～R12 (+25%、2年延伸)	550 (+28%、122増)	112		20.4%	6.5	16.0%															
38	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	船明上塚	浜松市	法面工 A=2160m2 擁壁工 L=314m	R3 (当初)	R3～R9	459	事業採択 (R3)後 5年が経過	－	－	3.5	－	－	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	－	－	－	－		国 45% 県 45% (市町 10%)	砂防課		
					R7 (今回)	R3～R11 (+29%、2年延伸)	467 (+1%、8増)	80		17.1%	6.8	15.8%															
39	静岡県	地すべり防止事業 (治山事業)	下里	浜松市	集水井 N=4基	R2 (前回)	H22～R7	1,520	再評価 (R02)後 5年が経過	624	41.0%	1.1	5.4%	－	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	－	－	○	－		国 50% 県 50%	砂防課		
					R7 (今回)	H22～R9 (+13%、2年延伸)	1,520 (変更なし)	1,148		75.5%	1.4	9.9%															
40	静岡県	港湾改修事業	清水港 新興津地区	静岡市 清水区	物揚場 L=865m 防波堤 L=385m	R4 (前回)	H20～R7	8,363	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	5,913	70.7%	1.1	4.5%	－	◎	◎	継続	・近年、船舶の大型化により、早急な対策が求められており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	－	－	○	－		国 40% 県 45% 市 15%	港湾整備課		
					R7 (今回)	H20～R11 (+12%、4年延伸)	9,191 (+10%、828増)	7,902		86.0%	1.1	4.4%															
41	静岡県	港湾改修事業	浜名港 舞阪地区	浜松市 中央区	導流堤 L=212m	R6 (前回)	H26～R7	700	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	577	82.4%	2.7	9.8%	資材価格の高騰に伴う増額 地元調整による施工期間の制約	◎	◎	継続	・近年、荒天日数の増加により、早急な対策が求められており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	－	－	－	○		国 40% 県 35% 市 25%	港湾整備課		
					R7 (今回)	H26～R9 (+16.7%、2年延伸)	1,125 (+60.7%、425増)	579		51.5%	1.5	6.1%															

番号	事業 主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係 市町	事業 内容	事 業 概 要			再評価 理由	前回評価時点からの事業進捗		事業の投資効果		※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項			
						評価 時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C (i=4%)		EIRR	事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 (案)	理 由	選定の視点					事 業 費 負担割合	担当課	
							上段：前回又は着手時 下段：今回	上段：前回又は着手時 下段：今回												①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等	最 選 結			終 定 果
42	静岡県	津波対策緊急事業	しずく こうかいがふん 清水港海岸 日の出地区	静岡市 清水区	胸壁(新設) L=1,370m 陸間(新設) N=26基 胸壁(改良) L=108m 陸間(改良) N=3基	R3 (当初)	R3～R12	5,315	事業採択 (R3) 後 5年が経過	-	-	1.4	5.8%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する	-	-	○	-		国 50% 県 50%	港湾整備課		
					R7 (今回)	R3～R12 (変更なし)	6,727 (+27%、1,412増)	1,950		29.0%	1.4	6.8%															
43	静岡県	津波対策緊急事業	おまさき こうかいがふん 御前崎港海岸 おまさき・下岬地区	御前崎市	胸壁(改良) L=2,722m 陸間(改良) N=9基	R3 (前回)	H19～R12	7,784	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	2,014	25.9%	1.7	6.4%	地盤改良工追加に伴う増額、資材価格の高騰 陸間改良整備期の見直しに伴う計画期間の延長	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する	-	-	○	○	◎	国 50% 県 50%	港湾整備課		
					R7 (今回)	H19～R18 (+25%、6年延伸)	11,241 (+44%、3,457増)	4,092		36.4%	1.6	6.3%															
44	静岡県	高潮対策事業	あたみ こうかいがふん 熱海港海岸 多賀地区	熱海市	護岸(改良) L=1,000m	R3 (当初)	R3～R10	2,240	事業採択 (R3) 後 5年が経過	-	-	1.5	6.2%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-		国 50% 県 50%	港湾整備課		
					R7 (今回)	R3～R10 (変更なし)	2,240 (変更なし)	1,263		56.4%	1.8	8.7%															
45	静岡県	高潮対策事業	ぬまづ こうかいがふん 沼津港海岸 千本・我入道地区	沼津市	堤防(改良) L=653m 胸壁 L=170m 陸間(改良) N=2基	R2 (前回)	H8～R4	5,657	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	5,534	97.8%	19.2	27.1%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	○	○	-		国 50% 県 50%	港湾整備課		
					R7 (今回)	H8～R10 (+33%、6年延伸)	7,073 (+25%、1,416増)	6,193		87.6%	9.1	19.2%															
46	静岡県	高潮対策事業	さくら こうかいがふん 相良港海岸 おのほろ・相良須々木地区	牧之原市	堤防(改良) L=3,856m 胸壁(改良) L=329m 陸間・水門(改良) N=16基	R3 (当初)	R3～R14	1,990	事業採択 (R3) 後 5年が経過	-	-	4.3	27.1%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-		国 50% 県 50%	港湾整備課		
					R7 (今回)	R3～R14 (変更なし)	1,990 (変更なし)	517		26.0%	5.8	19.7%															
47	静岡県	街路事業	ふし けいかくどうろ 都市計画道路 御殿場小山線	御殿場市	車道拡幅工 L=279m	R3 (当初)	R3～R9	990	事業採択 (R3) 後 5年が経過	-	-	-	-	-	◎	◎	継続	・整備に対する地元の期待も高く、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地権者も協力的であり今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-		国 50% 県 35% 市町15%	街路整備課		
					R7 (今回)	R3～R9 (変更なし)	990 (変更なし)	512		51.7%	3.1	12.2%															